

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	「くりかえしの命令をしよう」
学年	3学年～6学年（令和元年度の実践も含む）
目標	ソフト「Scrach」を用い、プログラムを工夫して課題を解決する活動を通して、プログラミング教育に対する意欲を高める。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scrach
環境	児童1人で1台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	北島北小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>本校では、本町が契約している情報教育支援員（ベネッセ派遣）と連携し、各学年でプログラミング教育の授業を実施している。ソフト「Scrach」を用い、課題を「くりかえしの命令をしよう」として活動している。</p> <p>子供たちは、準備されたワークシートを参考に、ロボットをプログラム通りに動かしたり、命令をいかに少なくしてゴールさせるかを考えたりするなど、様々な課題に一生懸命挑戦している。少し難しい課題もあったが、楽しみながら活動できていた。</p>
	 <p>(課題解決に向かう様子)</p>  <p>(プログラムを試す様子)</p>  <p>(作戦をワークシートに書く様子)</p>  <p>(自分の解決策を発表する様子)</p>
成果と課題	どの児童も楽しく活動できた。フィードバックしたり、他の方法を探る挑戦をしたりと、プログラミングのよさや基礎知識を理解することができた。